

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年9月14日)

- 1 第2回鳥取県国土強靱化地域計画策定委員会の開催結果について【技術企画課】
…1ページ
- 2 鳥取自動車道の交通死亡事故に伴う緊急要望結果について【道路企画課】 …2ページ
- 3 平成27年度第2回湖山池会議の概要について【河川課】 …3ページ
- 4 太田国土交通大臣 鳥取県・島根県視察について【河川課・空港港湾課】 …4ページ
- 5 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【道路企画課・道路建設課・河川課】 …6ページ

県土整備部

第2回鳥取県国土強靱化地域計画策定委員会の開催結果について

平成27年9月14日
技術企画課

このたび、鳥取県国土強靱化地域計画の策定にあたり、各分野の有識者等から意見を伺うため、第2回の委員会を開催しましたので、その概要を報告します。

記

1 開催日時等

日 時：平成27年9月8日（火） 午後2時から4時20分まで
場 所：とりぎん文化会館 第3会議室
出席委員：12名出席（17名中）
会 長：鳥取大学副学長 梶見吉晴 氏

2 主な審議内容（別添骨子案のポイント参照）

- ・脆弱性評価
- ・強靱化に向けた方向性（必要となる施策とその推進方針、施策の重点化）

3 委員からの主な意見

○ 人命保護

- ・市町村で実施する災害時要支援者援護プラン等の計画の実効性が重要。避難行動要支援者の名簿を作るだけではなく、実際に機能することが大切。
- ・県の支え愛マップ推進事業を契機として地域の防災意識が芽生え始めた。コミュニティの強化が共助につながるため、このような取組のPRが必要。
- ・民間建築物の耐震化促進のため、行政の支援が必要ではないか。

○ 救助・救援、医療活動

- ・計画の取組を進める上では、PDCAサイクルでのチェック段階で、庁内の部局横断並びに市町村や民間とも連携を図りながら、柔軟性をもった対応が必要。
- ・避難が長期化し避難所から仮設住宅へと移転すると、孤立化に伴う孤独死、アルコール中毒等の問題が出てくるため、長期にわたり心のケアを行う体制が大切。

○ 行政機能の確保

- ・消防庁舎の耐震化については、本署、分署の役割を整理しながら優先度を検討してはどうか。

○ 情報通信機能の確保

- ・倉吉市では送受信できる双方向の無線を配備。災害発生時における円滑な運用のため、官側が受付対応できるよう民間活力が必要。

○ 地域経済活動の維持

- ・BCP（企業継続計画）未策定の中小企業の支援が必要ではないか。
- ・個人経営等30人未満の中小企業については、商店街等の地区としてDCP（地域継続計画）での対応が必要。

○ ライフラインの確保及び早期復旧

- ・電力事業者として、電力設備、鉄塔等は耐震基準を満たしている状況。

○ 二次災害の防止

- ・港湾においては、津波によるコンテナ、木材流出等の対応を検討すべき。
- ・感震ブレーカーの役割について、知らない人が多いと思われるため、その設置の必要性についてPRが必要。

○ リスクコミュニケーション

- ・防災組織は高齢層が多くなる中、地域防災力の向上を図るため若年層との連携や、教育機関やPTA、地区の子供会等を利用した大人向けに防災教育の機会の創出が必要。

4 今後の予定

- ・9～10月上旬 骨子（案）、素案の市町村との意見交換
- ・10月上旬 骨子（案）、素案の議会への説明
- ・10月下旬 パブリックコメント

鳥取自動車道の交通死亡事故に伴う緊急要望結果について

平成27年9月14日
道路企画課

平成27年8月4日に発生した鳥取自動車道での死亡事故を受け、8月13日の現地検討会等において提案されたソフト・ハードの緊急改善方策の早期実行と、高速道路ネットワーク本来の定時性・安全性の確保に向けた暫定2車線道路の4車線化に向けた緊急要望を以下のとおり行いました。

1 要望活動日時

平成27年8月24日（月） 午後5時15分～5時30分

2 要望活動先

国土交通省 青木大臣政務官、川崎国道・防災課長

3 要望内容について

事故の重大性に鑑み、今回と同様の対面通行に起因する重大な事故の防止や交通渋滞を解消し、高速道路ネットワーク本来の定時性、安全性を確保するため、次の事項について要望した。

- ①現地検討会等において提案されたソフト・ハード両面の緊急改善方策を早期に実行すること。
 - ・センターポールを太く分かりやすくする
 - ・注意喚起看板の設置（減速、合流注意）など
- ②県内高速道路における暫定2車線区間の4車線化の早期実現を図ること。
- ③現在整備中の鳥取自動車道及び米子道路の付加車線工事の早期供用を図ること。

4 要望活動の結果（青木大臣政務官の発言要旨）

- 「センターポールの2車線は、本来の姿では無い」と述べられ、本来、高規格幹線道路は4車線で整備されるべきものとの考えが示された。
- 併せて、「センターポールを太くする、早めの減速表示など、ソフト面での対策をできるだけ早く対応させていただく。」「暫定2車線道路の4車線化は将来的にはやらないといけませんが、ミッシングリンク解消を優先とした上で、まずは付加車線整備を進めていきたい。」との考えが示された。



〔青木大臣政務官への要望〕

5 今後の予定

- 今後も引き続き、関係機関と連携しながら、高速道路ネットワークの安全対策に取り組んでいく。

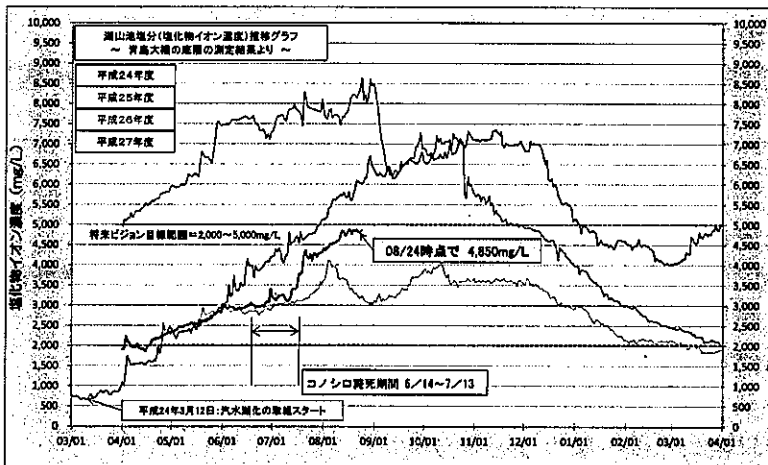
<参考>青木大臣政務官以外の要望状況

- ・8月20日（木）10:00～ 要望先：鳥取河川国道事務所 田宮所長
- ・8月20日（木）13:30～ 要望先：倉吉河川国道事務所 藤原所長
- ・8月27日（木）13:30～ 要望先：中国地方整備局 佐々木道路部長、望月道路調査官

8月27日(木)に今年度2回目の湖山池会議を開催し、現状報告と秋に向けた水質管理の方針等を協議したので、概要を報告します。

1 今夏の水質の状況報告

塩分濃度 (下グラフ参照)	<ul style="list-style-type: none"> 8月24日時点で塩分濃度は4,850mg/Lであり、将来ビジョンに定める上限5,000mg/Lに近づいている。(9/9現在4,598mg/L) 今後の降雨の状況等により5,000mg/Lを超過する可能性がある。
水質の動向 (汚濁度/COD等)	<ul style="list-style-type: none"> 今年は、大規模な赤潮等が発生しておらず、過去3年間で最も低めの数値で推移している。
溶存酸素	<ul style="list-style-type: none"> 湖山池内は、最深部を中心に水深3.5m以深の広範囲で貧酸素状態(3mg/L以下)になっている。 湖山川は、おおむね確保できている。(3mg/L以上)



(塩分濃度の推移と要因)

- 7月初旬までは3,000mg/L前後で推移。
- 7月中旬からは、気象条件(少雨、高潮位による逆流)及びコノシロ斃死[※]への対応による緊急避難的な操作(水門の開度アップ)により上昇。
- 8月も少雨、高潮位による逆流の多発が継続。湖山川や浅場の溶存酸素を確保する最小限の開度とした水門操作を実施したものの上昇傾向で推移。

※突道湖等でも過去に事例報告があるコノシロ特有の産卵期の疲弊に伴う斃死と推察

2 秋に向けた水質管理の方針

- 9月末までを水質管理の重点監視期間と位置付け、次のとおりの対応をしていくことを確認した。
- 貧酸素化による魚介類の斃死を避けるため、溶存酸素確保に配慮しつつ、塩分濃度をビジョンで定める5,000mg/L以下に抑えるよう、最小限の開度としたよりきめ細かな水門操作を継続する。
 - 塩分濃度が5,000 mg/Lを超えると赤潮の発生等が懸念されるため水質調査等の監視を強化する。
 - 今後、塩分濃度の上昇傾向が継続する場合は、緊急湖山池チーム長会議を開催し、機動的な対策を検討・実施する。

3 今後の対応(現状を踏まえての主な取組予定)

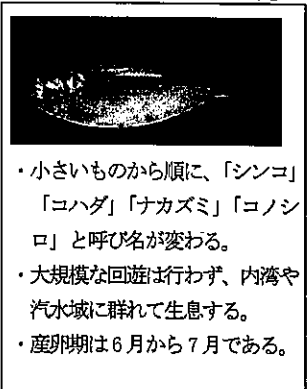
- 【新規】今夏の魚斃死(コノシロのみ)の原因究明などの調査を進める。(H28年度着手)
- 【継続】水門改築を着実に進める。(H28年度本体着手予定)
- 【継続】環境モニタリングの継続と各種水質浄化対策等を着実に進める。

(参考) 水門改築検討状況

操作性、経済性で有利な2段ゲートについて、検討を進めている。

	2段ゲート	フラップ付ゲート	倒伏ゲート
操作性	○ 各々の単独操作が可能で操作の自由度が高い	○ 親子扉、各々の操作が可能で操作の自由度が高い	× 下部が固定のため操作の自由度が低い
改築費	○ 既設門柱を利用でき安価	○ 既設門柱を利用でき安価	× 門柱を新設する必要があり高価
維持費	○ 構造が単純なため安価	× 構造が複雑なため高価	× 構造が複雑なため高価
総合	○	△	×

【コノシロ (WEB 図鑑より)】



4 その他

9月下旬開催予定の湖山池環境モニタリング委員会で各種モニタリング結果を報告し、今後の水質管理のより良い手法やモニタリング手法に対する意見を聴取し、次回の湖山池会議にて協議する予定。

太田国土交通大臣 鳥取県・島根県視察について

平成27年9月14日
河川課
空港港湾課

- 8月29日、30日に太田国土交通大臣の鳥取県・島根県の視察がありました。
- 鳥取県内の視察箇所は、皆生海岸、境港を訪れ、海岸の侵食対策状況や中野地区国際物流ターミナル、竹内南地区貨客船ターミナルの進捗状況を確認されました。
- 境港では、クルーズ船の寄港状況、原木船・チップ船の沖待ち状況から、「中野地区国際物流ターミナル」「竹内南ふ頭再編改良事業」の早期整備に理解を示されました。
- 地方創生にはインフラ整備が不可欠であり、山陰道の整備を促進すること、境港米子間の高速道路の必要性について理解を示されました。
- 皆生海岸事業については、住民・旅館のみなさんの声も聞いて検討する必要があると理解を示されました。

1 視察者:

本省：太田国土交通大臣、金尾水管理・国土保全局長、菊池港湾局長、井上海岸室長
中国地整：丸山中国地方整備局長、野田企画部長、渡邊河川部長、佐々木道路部長、梅野港湾空港部長、木村港湾空港計画管理官、相田境港湾・空港整備事務所長
自治体：平井知事、斉木鳥取県議会議長、安田境港管理組合議会議長、中村境港市長

2 視察概要（ルート：皆生海岸～境港昭和南岸壁～夢みなとタワー）

1) 皆生海岸：「皆生工区の概要」（坂本日野川河川事務所長）

○女将會會長 福元芳子（ふくもとよしこ）

・海水浴客が今年は多く良かった。波で砂浜がなくなるのが怖い。人工リーフの方が向こうの景色が見えて良いと思った時期もあったが、安全が一番なので、離岸堤のままでよいと伝えた。

2) 外港昭和南岸壁：「中野国際物流ターミナルの概要」（梅野港湾空港部長）

○王子製紙事務部長 大橋信雄（おおはしのぶお）

・原木船やクルーズ船とのバッチィングで沖待ちする。年間2,000万円余計に掛かっている。
・境港が発展することで、米子工場に新たな可能性が生じる。

○境港市観光協会 会長 梶田智身（ますだともみ）

・平成22年は年間322万人の旅行者が来て中四国でナンバーワンの観光地。魚・みなと・鬼太郎でまちおこしをしており、国際旅客ターミナルは大きな起爆剤になる。

3) 夢みなとタワー

「境港ふ頭再編整備事業の概要」（梅野港湾空港部長、相田境港湾・空港整備事務所長）

「要望書手交」（鳥取県知事）

〔要望内容〕

- 北東アジアゲートウェイ「境港」の重点整備について
- 高速道路ネットワークの早期整備について
- 中海圏域の発展を支える直轄治水・海岸事業の推進について
- 山陰における広域観光周遊ルートの認定について
- 地方航空路線の維持・拡充について

3 30日太田大臣記者会見内容

〔北東アジアゲートウェイ「境港」の重点整備について〕

- ・境港は、物流・観光・水産業の玄関口として、非常に多面的な要素を持っている。それぞれが更に拡大していくために、対応する岸壁の整備等々を始めとする問題が生じており、きちっと予定どおり、少しでも一日でも二日でも一週間でも一ヶ月でも前に倒せればと言うことを強く思った。
- ・地政学的に、韓国あるいは中国ロシアというところで極めて重要な役割を果たす。

〔高速道路ネットワークの早期整備について〕

- ・工事が既に行われている箇所が多く、工事を順調に進めていくということ。例えば観光という点においては、山陰道の鳥取と米子の間というのは、出来るだけ早くということによく承知している。
- ・魅力ある山陰にとって課題は、交通網の整備。中海・宍道湖・大山圏域というひとかたまりとして、熟度は高く観光ポテンシャルはある。
- ・境港から山陰道を通ってやまなみ街道からしまなみ海道ということで、その面でも物流と観光という点で、益々この境港は重要。そして米子という都市が非常に大事になってくるということを感じた。

〔中海圏域の発展を支える直轄治水・海岸事業の推進について〕

- ・温泉と海水浴が一緒に楽しめる場所。住民の方との連携、旅館業を営んでいる方の声も聞いて検討する必要がある。ブロックが汚いとか、ブロックがいらぬとかそういう声も聞こえた。海岸がしっかり守られるということに努めてまいりたい。



視察状況：皆生海岸



視察状況：竹内南地区

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
道路企画課 (西郡総合事務所 米子県土整備局)	国道181号(伯耆橋工区)橋梁下部工事(A1)(防災安全交付金)	西伯郡 伯耆町 大殿	株式会社ミテック 代表取締役 湯越 正己	132,624,000円 (予定価格) 145,538,640円	平成27年8月25日 ～ 平成28年3月22日	平成27年8月24日	制限付 一般競争入札 (12社)
道路企画課 (西郡総合事務所 米子県土整備局)	国道181号(伯耆橋工区)橋梁下部工事(A2)(防災安全交付金)	西伯郡 伯耆町 大殿	美保テクス株式会社 取締役社長 野津 一成	114,696,000円 (予定価格) 125,329,680円	平成27年9月1日 ～ 平成28年3月22日	平成27年8月31日	制限付 一般競争入札 (16社)
道路企画課 (西郡総合事務所 日野振興センター 日野県土整備局)	国道181号(根雨橋)歩道設置工事(交付金交安)	日野郡 日野町 根雨	ショーポンド建設株式会社岡山営業所 所長 神田 豊	104,760,000円 (予定価格) 106,965,360円	平成27年8月10日 ～ 平成28年3月15日	平成27年8月10日	制限付 一般競争入札 (1社)
河川課 (鳥取県土整備 事務所)	塩見川広域河川改修工事(橋梁上部工)	鳥取市 福部町 細川	株式会社アルス製作所 代表取締役社長 坂本 孝	116,532,000円 (予定価格) 126,013,320円	平成27年8月5日 ～ 平成28年3月15日	平成27年8月4日	制限付 一般競争入札 (2社)
河川課 (八頭県土 整備事務所)	私都川河川改修工事(5工区)	八頭郡八頭町 門尾～興谷	株式会社竹内組 代表取締役 竹内 秀彦	136,620,000円 (予定価格) 147,852,000円	平成27年8月5日 ～ 平成28年3月25日	平成27年8月5日	制限付 一般競争入札 (11社)

【変更分】

果土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
道路建設課	街路滝山桜谷線トンネル工事(交付金)	鳥取市 滝山 ～ 鳥取市 岩倉	街路滝山桜谷線トンネル工事 (交付金) 安藤・間・大畠工業 特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社安藤・間・島支店 執行役員支店長 麻生 達三	(当初契約額) 1,223,285,083円	平成25年12月20日 ～ 平成27年5月13日	(当初契約年月日) 平成25年12月19日	
				(第2回変更後契約額) 1,212,129,360円 (変更額) 〔△11,155,723円〕	(変更後工期) 平成27年9月16日	(第1回変更契約年月日) 平成27年3月24日	
				(第2回変更後契約額) 1,212,129,360円 (変更額) 〔△11,155,723円〕		(第2回変更契約年月日) 平成27年8月20日	
道路建設課 〔鳥取県土整備 事務所〕	国道178号(岩美道路) 道竹城トンネル舗装工事(補助)	岩美郡 岩美町 浦富 ～ 本庄	株式会社藤原組 取締役社長 藤原 正	(当初契約額) 127,980,000円	平成27年2月17日 ～ 平成27年10月29日	平成27年2月16日	
				(第1回変更後契約額) 125,568,360円 (変更額) 〔△2,411,640円〕		(第1回変更契約年月日) 平成27年3月24日	
				(第2回変更後契約額) 124,259,400円 (変更額) 〔△1,308,960円〕		(第2回変更契約年月日) 平成27年8月6日	

